

# 「古都りん」社会実験にみる 地域活性化の可能性と今後の展開\*

## The possibility of local revitalization and future development through the social experiment “Kotorin Project” \*

田中文彬\*\*・近藤兼史\*\*\*・漕江茂裕\*\*\*・西川淳\*\*\*・山室良徳\*\*\*\*  
By Fumiaki TANAKA \*\*・Kenshi KONDO \*\*\*・Shigehiro KOGIE \*\*\*  
Atsushi NISHIKAWA \*\*\*・Yoshinori YAMAMURO \*\*\*\*

### 1. はじめに

郡山城跡周辺の昔ながらの町並みや金魚池等の観光資源を有する奈良県大和郡山市は、世界遺産を有する奈良・斑鳩・西ノ京などの中心に位置し、またこれらは奈良自転車道によって結ばれているが、近年、観光客は停滞傾向にある。そのため同市では周辺地域との連携を図りながら観光振興・地域活性化を図っていくことが喫緊の課題となっている。

こうした中、2010年は平城遷都1300年祭が本格スタートされる年であり、それに伴い、平城宮跡をはじめ奈良公園周辺等に例年以上の観光客の来訪が予想されていたこともあり、奈良県では中心市街地での交通渋滞の緩和に向けてP&BR拠点駐車場を設置していた。

そこで、奈良県で実施した取り組みにあわせ、P&BR拠点駐車場のうち大和郡山市内に位置し、多数の観光客が集中すると予想される九条公園P&BR拠点駐車場において、駐車場利用者を対象に大和郡山市の観光振興及び地域活性化を目的としたP&CR社会実験を行った。

本社会実験では、駐車場利用者を対象に電動アシスト自転車の貸し出しを行うとともに(レンタサイクル「古都りん」(以下、「古都りん」という))、地元との協働による地域協賛サービスの実施や活用便利マップの配布を行い、大和郡山市への観光促進を図った。

本論文では、社会実験から得られた利用状況等から利用動向について分析するとともに、利用者に対して行ったアンケート調査や自転車に設置したGPSロガーデータ等から、レンタサイクル及び地域協賛サービスの実施による地域活性化・観光振興の可能性等について考察する。また、同地域における「古都りん」の事業化の可能性や今後の展開について述べる。

\*キーワード：観光・余暇行動、交通行動分析、活動分析

\*\*正員， 学士， 中央復建コンサルタンツ(株)

(大阪市東淀川区東中島4-11-10，

TEL:06-6160-4140, FAX : 06-6160-1230)

\*\*\*非正員， 郡山土木事務所

(大和郡山市北郡山町274，

TEL: 0743-52-1101, FAX : 0743-55-3762)

\*\*\*\*正員， 工修， 中央復建コンサルタンツ(株)

### 2. 地域協賛サービスの概要

#### (1) 地域協賛サービス実施期間

「古都りん」P&CR社会実験は、平城遷都1300年祭のフェア期間と同様に、春季フェア(4/24(土)～5/9(日)の16日間)、夏季フェア(8/20(金)～8/27(金)の8日間)、秋季フェア(10/9(金)～11/7日(日)の30日間)の計54日実施した。

そのうち、地域協賛サービスの取り組みについては、夏季フェア期間・秋季フェア期間において実施した。

#### (2) 加盟店

地域協賛サービスを利用することのできる加盟店は、図-1に示すように、商店や飲食店など大和郡山市内に位置する30の施設とした。

なお、加盟店の選定にあたっては、大和郡山市商工会・観光協会等の協力を得て、市街地から周辺部まで広域にわたって選定した。

#### (3) 地域協賛サービス内容

サービス内容については、「古都りん」を利用して来店された人全員に無料でサービスを提供する協賛店もあれば、店舗の商品を購入した「古都りん」利用者に対しサービスを提供する協賛店もあるなど、協賛店独自にサービスを提供いただいた。(図-1)

店舗名	サービス内容	店舗名	サービス内容
Le BENKI ☎ 0743-52-3588 ※ 月曜 休	お茶・食事の時に クッキープレゼント!	本家菊屋 ☎ 0743-52-0035 ※ 月曜 休	お茶とお菓子・梅の梅干し サービス!
新藤料理 翁 ☎ 0743-52-2846 ※ 月曜 休	食事の時に コーヒーサービス!	サンデーバー ☎ 0743-52-2200 ※ 月曜 休	アラブ・ピザ・ピカタセット などの特典サービス
おみやげ屋 こまや ☎ 0743-52-7770 ※ 月曜 休	お茶・食事の時に 1個無料体験	知友フーズ モカ ☎ 0743-52-2559 ※ 月曜 休	50円以上で 5%OFF
胡菓子軒 杉屋 ☎ 0743-52-2622 ※ 月曜 休	お菓子10個以上 お茶1.5杯の時に 1個サービス!	カステロ ☎ 0743-55-5886 ※ 月曜 休	ランチ 100円引 (5/24・10/9・11/7) ピザ2枚 50円 ※ 月曜 休
藤澤文庫 ☎ 0743-52-2171 ※ 月曜 休	入館料50円引き	箱本館「相殿」 ☎ 0743-52-0581 ※ 月曜 休	入館料10%引き (※ 月曜 休)
Little Ann ☎ 0743-52-2400 ※ 月曜 休	レストランで食事の時に フードリンクサービス!	かん林「おぼこはん」 ☎ 0743-52-8177 ※ 月曜 休	おぼこはん 500円 (5/24・10/9・11/7) (5/24・11/7のみ 1450円)
おみやげ屋 藤原の おみやげ屋 ☎ 0743-52-2154 ※ 月曜 休	お茶の時に フリーズ小豆羹!	文具・事務機 ミヤザワ ☎ 0743-52-0128 ※ 月曜 休	お茶の時に 商品サービス!
おみやげ屋 実業の 実業 ☎ 0743-52-2154 ※ 月曜 休	お茶の時に 10%割引	安丸 洋行・おみやげの インガフ 藤山 ☎ 0743-52-0125 ※ 月曜 休	水産フレッシュ 商品サービス!
おみやげ屋 小野店 ☎ 0743-52-2266 ※ 月曜 休	お茶の時に 10%割引	藤田洋行店 ☎ 0743-52-2403 ※ 月曜 休	商品サービス!
家庭用品の店 スシヤ ☎ 0743-52-1231 ※ 月曜 休	お茶の時に 「汗拭きタオル」進呈!	アパレルショップ アパレル ☎ 0743-52-1785 ※ 月曜 休	お茶の時に 商品サービス!
北谷食品店 ☎ 0743-52-2340 ※ 月曜 休	24本券 進呈! 500円 950円!	吉原呉服店 ☎ 0743-52-2391 ※ 月曜 休	ウツの和紙「漢方紙」 商品サービス! 1000円以上 500円
大門道 ☎ 0743-52-2930 ※ 月曜 休	入館料が無料提供!	藤澤文庫 ☎ 0743-52-2171 ※ 月曜 休	お茶の時に 商品サービス!
おみやげ屋 小杉屋 ☎ 0743-52-2266 ※ 月曜 休	お茶の時に 「生きたももか」進呈 「夏祭り」進呈!	おみやげ屋 小杉屋 ☎ 0743-52-2266 ※ 月曜 休	お茶の時に 10%割引
おみやげ屋 香田 ☎ 0743-52-5501 ※ 月曜 休	お茶の時に 10%割引	おみやげ屋 香田 ☎ 0743-52-5501 ※ 月曜 休	お茶の時に 10%割引
おみやげ屋 ハウス・ヒロ ☎ 0743-52-5911 ※ 月曜 休	全メニュー50%引き	夢カフェ 夢いーる ☎ 090-3869-3611 ※ 月曜 休	お茶の時に 10%割引

図-1 地域協賛サービスの加盟店・内容

#### (4) 地域協賛サービス利用方法

地域協賛サービスの利用については、本社会実験で実施しているレンタサイクル「古都りん」の利用者に対し、観光情報及び地域協賛サービスの加盟店、サービス内容を記載した活用便利マップを無償で発行しており、「古都りん」利用者が大和郡山市内の商店や飲食店など30店舗の加盟店で、観光マップを提示すると、その場でサービスを享受できることになっている。

(図-2)



図-2 地域協賛サービス加盟店マップ

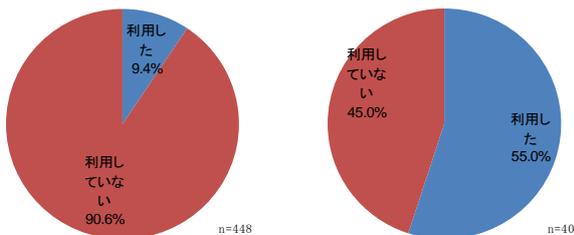
#### (5) 地域協賛サービスの利用状況

地域協賛サービスの利用状況を見ると、「古都りん」利用者全体のうち9.4%が利用している。また、大和郡山市内滞在者では55.0%が利用している。(図-3)

サービスの利用者は、男性が40.5%、女性が59.5%と女性の比率が高くなっている。(図-4)

また、年代別にみると50代の利用者が最も多く、次いで40代、60代と多くなっている。(図-5)

なお、サービスの利用があった加盟店は、13店舗であり、「古都りん」利用者の来店があった加盟店は17店舗となっていた。(表-1)



「古都りん」利用者

「古都りん」利用者のうち大和郡山市滞在者

図-3 地域協賛サービスの利用の有無(秋季フェア)

※大和郡山市内滞在者：大和郡山市内に10分以上滞在した利用者

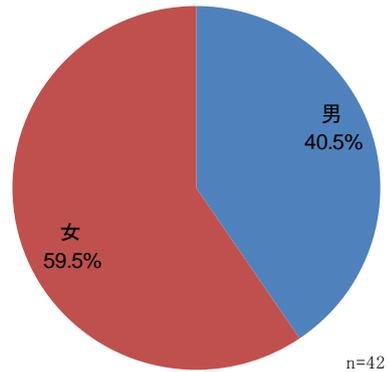


図-4 地域協賛サービス利用者の性別構成

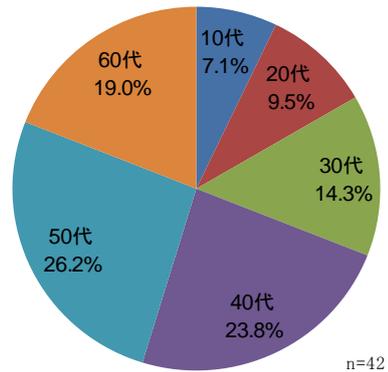


図-5 地域協賛サービス利用者の年齢構成

表-1 地域協賛サービス利用者及び来店者数

協賛店	利用者数	来店者数	サービス内容
おみやげ処 こちくや	40	40	金魚すくい1回無料券
本家 菊屋	38	38	お茶とお菓子(城の口餅2個)サービス
サンデーバー	10	10	Aランチ、ピザ・パスタセット 注文の方にデザートサービス
カステッロ	10	50	ランチ100円引きドリンクの方50円
さくら倶楽部	10	10	ご来店の方にプレゼント進呈
粉屋 小谷商店	10	10	お買い上げ価格より10%割引
イシガミ	7	8	水晶プレスレット 特別奉仕品300円
箱本館「紺屋」	7	7	入館料10%引
大門湯	5	5	入浴セット無料提供
御菓子司 杉屋	3	5	和菓子10個以上お買い上げの方に1個サービス
和カフェ モリカ	1	1	500円以上で5%OFF
アジアショップ グリーンローズ	1	1	商品お買い上げの方に粗品進呈
喫茶 Hiro	1	1	全メニュー50円引き
季節料理 翁	0	5	食事の方にコーヒーサービス
柳澤文庫	0	15	入館料50円引
金魚ランド 幸田	0	2	金魚お買い上げ価格から10%割引
アクアトレンディ	0	6	金魚(生体のみ)表示価格より10%割引 3000円以上お買い上げで20%割引

※加盟店へのアンケート結果より

※夏季フェア、秋季フェアの利用者・来店者数

※サービス利用者、来店者のなかった加盟店は除く

### 3. 「古都りん」利用者の利用動向

#### (1) 利用状況

「古都りん」の利用状況を見ると、無料であり気候のよかった春季フェアで1日当たりの平均約52台/日、無料であるが猛暑が続いた夏季フェアで約22台/日、有料であるが気候のよかった秋季フェアは約16台/日となっている。

また、各フェアにおいて、休日の1日あたりの貸出台数は平日に比べ、約25台多くなっている。(表-2)

表-2 「古都りん」の利用状況

		春季フェア (無料)	夏季フェア (無料)	秋季フェア (有料)
		運営日数	平日 6日間 休日 10日間 計 16日間	6日間 2日間 8日間
「古都りん」利用台数	平日	220台	94台	89台
	休日	608台	81台	376台
	計	828台	175台	465台
1日あたりの 「古都りん」利用台数	平日	37台	16台	5台
	休日	61台	41台	31台
	計	52台	22台	16台

#### (2) 交通行動

「古都りん」の交通行動についてみると、各フェアにおける、「古都りん」平均貸出時間は、春季・秋季フェアで約6時間、夏季フェアで約4.3時間となっており、貸出時間のうち、停止時間(滞在時間)が概ね75%、移動時間が概ね25%となっていた。(表-3)

なお、移動距離については春季・秋季フェアで17~18km、夏季フェアで約13kmとなっていた。(表-3)

表-3 GPSロガーによる貸出時間・平均移動距離

	貸出時間 (分)	停止時間 (分)	移動時間 (分)	移動距離 (km)
	春季フェア	376	285	
夏季フェア	260	194	65	13.1
秋季フェア	362	270	93	17.8

#### (3) 大和郡山市内の滞在状況

「古都りん」利用者の滞在状況を見ると、春季フェアにおいては、全体の約5%が大和郡山エリアに滞在している。一方、地域協賛サービスを実施した夏季・秋季フェアにおいては、大和郡山エリアに滞在した「古都りん」利用者は、夏季フェアで全体の約13%、秋季フェアで全体の約9%と、春季フェアの2倍近くの割合を占めることとなっており、地域協賛サービスの実施が大和郡山エリアの観光促進に寄与していると考えられる。(図-6)

大和郡山市内における「古都りん」利用者の滞在状況を見ると、次に示すような特徴がみられ、『地域協賛サービス』が地域の観光促進に寄与していることがわかる。



図-6 エリア別滞在状況  
※滞行者：10分以上停止した利用者



図-7 大和郡山市内の滞在状況  
※滞行者：10分以上停止した利用者

- ・春季フェアの利用者は、郡山城跡公園に集中して観光しており、まちなかへはあまり足を運んでいないことがうかがえる。
- ・一方で、地域協賛サービスを開始した夏季フェア以降においては、郡山城跡だけではなく、まちなかにおいても滞在していることがうかがえる。
- ・夏季フェア以降の滞在個所をみると、地域協賛サービスの協賛店である「本家菊屋」や「こちくや」、「小谷商店」などで多くみられていることがわかる。

滞在時間をみると、春季フェアと秋季フェアで約30分超、夏季フェアで約89分となっていた。他のフェア期間に比べ、夏季フェアの滞在時間が長くなっている要因としては、地域協賛サービスを開始したことや、平常宮跡で催しているイベントが夜に行われていたため、日中に大和郡山市を観光する「古都りん」利用者が多かったことなどが考えられる。(図-7)

また、一方、春季フェアと秋季フェアについてみると、春季フェアから秋季フェアにかけて大和郡山市を訪問する「古都りん」利用者の割合は2倍近くになっているものの、1人あたりの滞在時間に大きな差は見受けられない。これについては、「こちくや」や、「本家菊屋」、「小谷商店」等の比較的短時間で享受できるサービスを提供していた施設において、地域協賛サービスの利用が多かったため、滞在時間に差異が見受けられなかった。(表-4)

表-4 大和郡山市内の滞在状況

	1人あたりの滞在時間	訪問者数	訪問割合
春季フェア	38分	36人	5.1%
夏季フェア	89分	20人	13.0%
秋季フェア	31分	40人	9.0%

#### (4) 観光中の使用金額

「古都りん」利用者へのアンケートにおける、“本日の旅行で、県内で使われたお金はいくらですか?”という設問に関して、大和郡山市に滞在した「古都りん」利用者の観光中に使用した金額をみると、地域協賛サービス実施前は1グループあたり約2,800円となっており、一方、地域協賛サービスを実施後は約3,300円という結果であった。

サービスを実施した前後で使用金額に差がみられ、地域協賛サービスによる地域振興への寄与の可能性がうかがえる。(表-5)

表-5 大和郡山市内滞在者の使用金額

	総使用金額	訪問者数(グループ数)	1グループあたりの使用金額
地域協賛サービス実施前	69,750円	25グループ	2,790円
地域協賛サービス実施後	39,750円	12グループ	3,313円

※平城宮跡会場で使用したお金やレンタサイクル料金は除く

#### 4. 利用者及び加盟店による地域協賛サービスの評価

##### (1) 利用者による地域協賛サービスの満足度

「古都りん」利用者へのアンケートにおける、“地域協賛サービスには満足いただけましたでしょうか?”という設問に対して、“満足”と“やや満足”の回答数を合わせると約80%となり、利用者数は伸び悩んだものの、地域協賛サービス利用者には、満足していただけたことがわかる。(図-8, 図-9)

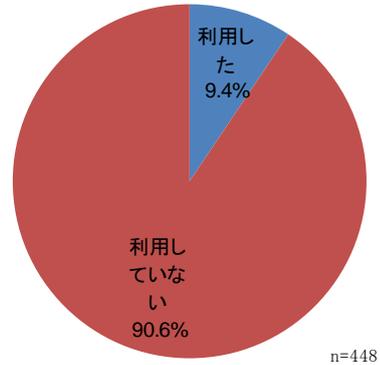


図-8 地域協賛サービスの利用の有無(再掲)

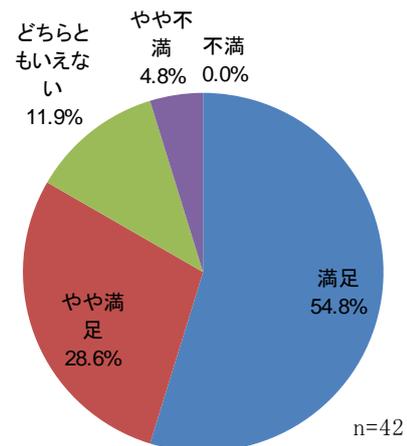


図-9 地域協賛サービスの満足度(秋季フェア)

##### (2) 加盟店による地域協賛サービスの評価

###### a) 地域協賛サービスの必要性

地域協賛サービス加盟店に社会実験終了後にアンケート調査を行った。そのうち、“地域協賛サービスのような取り組みは今後引き続きあった方がよいと思いますか?”という設問に対し、“必要”、“あった方がよい”の回答を合わせると約86%となった(図-10)。“必要”もしくは“あった方がよい”と回答した加盟店からは、“お店を知ってもらえるから”、“色々なサービスがきっかけとなり、地域での滞在時間が長くなるかと思うから”、“地域全体を盛り上げるのに必要と思うから”等という意見があった。また、“なくても良い”、“どちらとも言えない”と回答した加盟店については地域協賛サービスの利用がみられなかったことが影響していると考えられる。(図-11)

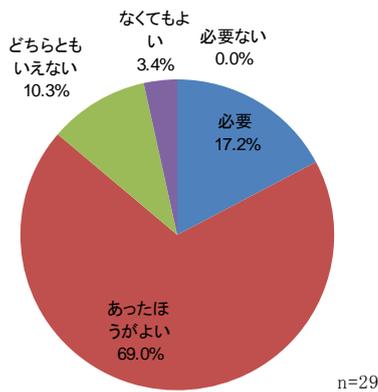


図-10 地域協賛サービスの必要性

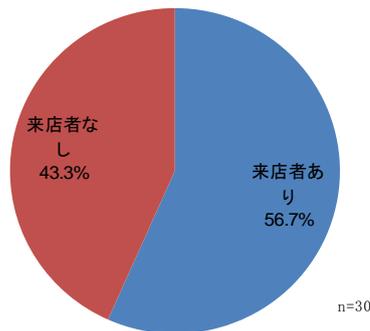


図-11 古都りん利用者の来店の有無

#### b) 今後の地域協賛サービスへの協力意向

“地域協賛サービスのような取り組みについて、今後とも協力いただくことはできますか？”という設問に対し、“協力できる”、“条件によっては協力できる”と全ての加盟店に回答いただいた。(図-12)

また、今後、地域協賛サービスに協力できる理由として、“お店を知ってもらえるから”、“地域の活性化につながると思うから”などが挙げられ、地域協賛サービスに対し、それぞれの店舗だけでなく、地域全体を盛り上げる要因となりうるのではないかと期待していることがわかる。(表-6)

なお、サービスの利用がなかった加盟店にも今後とも協力できるという回答をいただいております、加盟店に今後にも繋がる取り組みであったと評価していただいているものと考えられる。

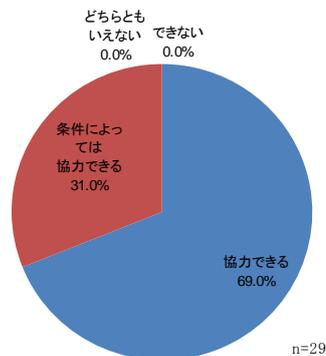


図-12 今後の地域協賛サービスへの協力意向

表-6 今後の地域協賛サービスへの協力できる理由

	票数
お店を知ってもらえるから	7
地域の活性化につながると思うから	6
利用者に喜んでもらえたから	2
その他	3

#### 5. 地域活性化の可能性について

##### (1) 観光行動の変化

古都りん利用者の観光行動をみると、行動範囲（移動距離）や滞在時間については、大きな変化はみられなかったものの、訪問・滞在状況については、夏季フェア以降は、大和郡山市内に滞在した「古都りん」利用者の割合が春季フェアの2倍近くとなっているという結果であった。

また、サービス利用者の地域協賛サービスに対する満足度は高く、大和郡山市を訪問した「古都りん」利用者のうち半数以上がサービスを利用していることから、地域協賛サービスが大和郡山市訪問のきっかけとなっていると考えられる。

さらに、滞在した施設・場所等については、夏季フェア以降は郡山城跡だけでなく、大和郡山市内、特に加盟店周辺に「古都りん」利用者が滞在する傾向が顕著にみられ、サービスを実施することにより、観光客が地元地域の店舗を訪れる可能性が見受けられた。

大和郡山市内で買い物・飲食等に使用する金額についても、地域協賛サービスの実施前後において変化がみられており、今後サービス利用者が増加することで、地元地域の店舗での更なる消費が期待できると考えられる。

地域協賛サービスを導入することにより、滞在状況の変化、滞在施設の変化、使用金額の変化が見受けられ、レンタサイクルでの周遊観光する際に、地域協賛サービスというオプションがあることで、通常の自転車周遊時以上に、加盟店及び周辺地域の商業・観光業等の活性化に寄与する可能性があると考えられる。

##### (2) 加盟店および来訪者の気運の向上

店舗によって差はあるものの、地域協賛サービスがきっかけとなり、来店している利用者があることもあり、今後サービスを継続実施した場合は協力できると、全ての店舗に回答をいただいているなど、地域協賛サービスについては、サービス利用者からだけでなく、加盟店においても高く評価をいただく結果となった。

また、サービスについては、地域の活性化につながるのではないかと評価いただいている加盟店もあり、今回の取組を実施したことで、地元地域から地域振興に対する意識が高まってきていることがうかがえる。

こうしたなか、加盟店および来訪者の地域協賛サービスの継続・発展に対する機運は向上していると考え

られ、「古都りん」及び地域協賛サービスを継続・発展することで、中心市街地及び周辺部にわたる広範な地域において、加盟店を含めた地域の活性化や周遊観光の促進につながる可能性があると考えられる。

## 6. 今後の展開

### (1) 今後の課題

地域協賛サービスの取り組み等を踏まえ、当該地域における今後の地域活性化に向けた課題を以下に示す。

#### a) 地域協賛サービスの更なる周知

地域協賛サービスについては、利用者が見受けられたものの、「古都りん」利用者全体で見ると、1割程度にとどまっていた。

今回の取り組みは平城遷都1300年祭に合わせて実施したため、「古都りん」利用者が平城宮跡を目的として来ていたこともあり、平城宮跡と反対方向である大和郡山市への訪問者が少なくなったことが、サービス利用が伸び悩んだ大きな要因の一つと考えられる。

しかし一方で、加盟店から“広報活動を強化しなければ現時点ではサービスについて知らない人が多い”という意見もみられており、今後、利用者の増加に向けては、「古都りん」や地域協賛サービスの周知活動の強化が重要であると考えられる。

#### b) 複数加盟店への立ち寄り

今回の社会実験ではいくつかの加盟店にサービス利用が偏っており、立ち寄り加盟店数はそれほど多くないため、利用者の増加は明白な課題であるが、あわせて、立ち寄る加盟店数にも課題があると考えられる。

戸田ら<sup>1),2)</sup>は、滞在時間と地区の活性化の関係について、買物や娯楽などの自由目的の行動の場合、滞在時間（滞留時間）を長くすることで地区の活性化が図れるとし、例として都心の滞留時間と小売り販売額の間に関連がみられることを挙げており、立ち寄り施設数を増加させ、滞在時間の増加を図ることで、商業・観光業等の活性化に寄与する可能性が考えられる。

今後、立ち寄り施設数の増加に向け、サービス内容の充実や、魅力的な加盟店の参画等を図り、利用者により多くの加盟店に立ち寄ってもらえるよう、工夫していくことが必要となる。

### (2) 今後の展開

#### a) レンタサイクル事業との連携について

大和郡山市では、今回実施したP&CR社会実験により得られた成果を踏まえ、観光協会・商工会等を中心に、レンタサイクル事業を引き続き展開していくことが決定している。

また、レンタサイクル事業を継続し、周遊観光の促進や地域の活性化を図るという目的を達成するため、地域資源の発掘方法や「古都りん」・観光等の情報発

信方法、あるいは「古都りん」を用いた広域観光の展開等に関する議論を行う「古都りん」協議会(仮称)を設立する予定である。なお、協議会構成員は行政・観光協会・レンタサイクル事業者等の予定である。

その「古都りん」協議会において、地域協賛サービスの充実やレンタサイクル事業との連携等についての検討を進め、また、地元商店街や観光施設等はもちろん、地域住民や観光客等の協力のもと、地域の活性化や観光振興を目指していくことになる。

#### b) 大和郡山市周辺地域との連携について

世界遺産を有する奈良・斑鳩・西ノ京などの中心に位置し、かつ奈良自転車道によって結ばれているという大和郡山市の位置づけを考えると、周辺地域との連携の強化も重要となってくる。

「古都りん」協議会では、斑鳩町が構成員として参画する予定であり、レンタサイクル事業については相互乗り捨てなど、地域間での連携も検討することになっている。こうしたなか、地域協賛サービスについても、地域の枠を超えて実施していくことで、複数地域にわたった周遊観光を促進したり、各地域それぞれにおける街中への立ち寄り機会を創出したりと、大和郡山市だけでなく周辺地域も含めた広域エリア全体で地域の活性化へとつなげていくことが望まれている。

## 7. おわりに

本論文では、「古都りん」P&CR社会実験において実施した取り組みの一つである地域協賛サービスの取り組み結果等について述べるとともに、レンタサイクル事業と地元地域との協働による取り組みによる地域活性化の可能性について述べた。

今回、大和郡山市内の加盟店の中には、地域活性化について危惧している店舗もみられたため、今回の取り組みに高い関心を持っていることがわかった。

また、本社会実験の結果及び今後の地域協賛サービスの実施結果を加盟店等の地元地域へ還元することで、地域協賛サービスの有用性等を認識し、このような取り組みに積極的に参画してもらうとともに、レンタサイクルと地域協賛サービスが相乗効果を上げていくような仕組みづくり等の検討を進める。

本社会実験での取り組みを継続し、地元地域が活性化に関する意識を醸成していき、官民が一体となって地域活性化を目指していけることを期待している。

### 参考文献

- 1) 戸田・谷口・秋本：都心地区における来街者の滞留行動に関する研究，日本都市計画学会学術研究論文集，No. 25，pp79～84，1990
- 2) 谷口・島岡・池田：地方都市における地区特性から見た滞留行動の要因分析，土木計画学研究・講演集26，2002